

考 試 科 目	日本文學	所 別	日本語文學系 6141	考 試 時 間	3 月 7 日(日)第 3/4 節
---------	------	-----	----------------	---------	-------------------

【問題一】次の文を読んで、設問に答えよ。(28%)

1-1.

「牛を賣る者あり。買ふ人、明日その價をやりて牛を取らんといふ。夜の間に牛死ぬ。①買はんとする人に利あり、賣らんとする人に損あり」と語る人あり。

これを聞きて、傍なる者の曰く、「②牛の主、まことに損ありといへども、又大なる利あり。その故は、生あるもの、死の近き事を知らざること、牛、既に然なり。人、また同じ。はからざるに牛は死し、計らざるに主は存せり。一日の命、萬金よりも重し。牛の價、鵝毛よりも輕し。萬金を得て一錢を失はん人、損ありといふべからず」と言ふに、皆人嘲りて、「その理は牛の主に限るべからず」と言ふ。

また云はく、「されば、人、死を憎まば、生を愛すべし。存命の喜び、日々に楽しまざらんや。愚かなる人、この楽しみを忘れて、いたづがはしく外の楽しみを求め、この財を忘れて、危く他の財を貪るには、志、滿つる事なし。生ける間生を楽しまずして、死に臨みて死を恐れば、この理あるべからず。③人みな生を楽しまざるは、死を恐れざる故なり。死を恐れざるにはあらず、死の近き事を忘るゝなり。もしまた、生死の相にあづからずといはば、實の理を得たりといふべし。」といふに、人、いよいよ嘲る。『徒然草』第九十三段)

【以下の設問を20-30字以内で答えなさい】(9%)

- (1) ①の理由を説明せよ。(3%)
- (2) ②の理由を説明せよ。(3%)
- (3) ③の原因について述べよ。(3%)

1-2.

又、おなじ年の六月の頃、俄に都、遷り侍りき。いと、思ひの外なりし事なり。大方、この京のはじめを聞けば、嵯峨天皇の御時、都と定まりにけるより後、既に數百歳を経たり。ことなる故なくて、たやすく改まるべくもあらねば、これを世の人、やすからず。愁へあへるさま、ことわりにも過ぎたり。されど、とかくいふかひなくて、①帝より始め奉りて、大臣・公卿、皆ことごとく移りたまひぬ。(中略)その時、おのづから事の便りありて、津の國の今の京に到れり。所の有様を見るに、その地、狭く條里を割るに足らず。北は山にそひて高く、南は海に近くて下れり。波の音、常にかまびすしくて、鹽風殊にはげし。内裏は山の中なれば、かの木丸殿もかくやと、なかなか様かはりて、優なるかたも侍りき。日々にこぼち、川も狭に、運びくだす家、いづくに作れるにかあらん。なほ空しき地は多く、作れる家は少なし。故郷は既に荒れて、新都はいまだ成らず。ありとしある人は、みな浮雲の思いをなせり。もとよりこの處に居たるものは、地を失ひて愁う。今うつり住む人は、土木の煩ひあることを嘆く。道の邊りを見れば、車に乗るべきは馬に乗り、衣冠・布衣なるべきは、直垂を著たり。都のてぶり、忽ちに改りて、ただ鄙びたる武士に異ならず。『方丈記』福原遷都)

【以下の設問を20-30字以内で答えなさい】(10%)

- (1) ①の文中から敬語を抜き出して分析せよ。(3%)
- (2) 福原への遷都について世間の人々はどう思っていたのか。(3%)
- (3) 人々の新都福原に対する印象について述べよ。(4%)

1-3.

むかし、男ありけり。人の娘のかしづく、いかで①この男にもの言はむと思ひけり。うちいでむこと難くやありけむ、もの病になりて死ぬべきときに、「②かくこそ思ひしか」といひけるを、親聞きつけて、泣く泣く告げたりければ、まどひ来たりけれど、死にければ、つれづれと籠りをりけり。『伊勢物語』第四十五段)

【設問】(9%)

- (1) ①について、何を言はむとするのか。(3%)
- (2) ②の「かく」とは何を指しているか。(3%)
- (3) 女の結末はどうなっているか。(3%)

考 試 科 目	日 本 文 學	所 別	日 本 語 文 學 系 6141	考 試 時 間	3 月 7 日(日)第 3/4 節
---------	---------	-----	---------------------	---------	-------------------

【問題二】 次の歌を現代語訳にせよ。(3%)

来むと言ふも 来ぬ時あるを 来じと言ふを 来むとは待たじ 来じと言ふものを
(坂上郎女 『万葉集』 卷四・五二七)

【問題三】 次の歌の表現について20—30字以内で述べよ。(4%)

花の色は うつりにけりな いたづらに 我が身世にふる ながめせしまに
(小野小町 『古今集』 春下・一一三)

【問題四】 平安時代の日記文学について 50—100 字以内で述べよ。(5%)

【問題五】以下の文章を読んで、設問に答えなさい。(30%)

5-1. 横光利一『花園の思想』の読解 (16%)

丘の先端の花の中で、透明な日光室が輝いていた。バルコオンの梯子は白い脊骨のように突き出ていた。彼は海から登る坂道を肺療院の方へ帰って来た。彼はこうして時々妻の傍から離れると外を歩き、また、妻の顔を新しく見に帰った。見る度に妻の顔は、明確なテンポをとって段階を描きながら、克明に死線の方へ近寄っていた。——山上の煉瓦の中から、不意に一群の看護婦たちが崩れ出した。

「さようなら。」

「さようなら。」

「さようなら。」

退院者の後を追って、彼女たちは陽に輝いた坂道を白いマントのように馳けて来た。彼女たちは薔薇の花壇の中を旋回すると、門の広場で一輪の花のような輪を造った。

「さようなら。」

「さようなら。」

「さようなら。」

芝生の上では、日光浴をしている白い新鮮な患者たちが坂に成った果実のように累々として横たわっていた。

①彼は患者たちの幻想の中を柔かく廊下へ来た。長い廊下に添った部屋部屋の窓から、絶望に光った一列の眼光が冷たく彼に迫って来た。

彼は妻の病室のドアを開けた。妻の顔は、花瓣に纏わりついた空気のように、哀れな朗かさをたたえて静まっていた。

——恐らく、妻は死ぬだろう。

②彼は妻を寝台の横から透かしてみた。罪と罰とは何もなかった。彼女は処女を彼に与えた満足な結婚の夜の美しさを回想しているかのように、端整な青い線をその横顔の上に浮べていた。

彼と妻との間には最早悲しみの時機は過ぎていた。彼は今まで医者から妻の死の宣告を幾度聞かされたか分らなかった。その度に彼は医者を変えてみた。彼は最後の努力で彼の力の及ぶ限り死と戦った。が、彼が戦えば戦うほど、彼が医者を変えれば変えるほど、医者の死の宣告は事実と一緒に明克の度を加えた。彼は萎れてしまった。彼は疲れてしまった。彼は手を放したまま呆然たる蔵のように、虚無の中へ坐り込んだ。そうして、今は、二人は二人を引き裂く死の断面を見ようとしてただ互に暗い顔を覗き合せているだけである。丁度、二人の眼と眼の間に死が現われでもするかのよう。彼は食事の時刻が来ると、黙って匙にスープを掬い、黙って妻の口の中へ流し込んだ。丁度、妻の腹の中に潜んでいる死に食物を与えるように。

あるとき、彼は低い声でそっと妻に訊ねてみた。

「お前は、死ぬのが、ちよつとも怖くはないのかね。」

「ええ。」と妻は答えた。

「お前は、もう生きたいとは、ちよつとも思わないのかね。」

備	註	試	題	隨	卷	繳	交
---	---	---	---	---	---	---	---

考 試 科 目	日 本 文 學	所 別	日 本 語 文 學 系 6141	考 試 時 間	3 月 7 日(日)第 3/4 節
---------	---------	-----	---------------------	---------	-------------------

「あたし、死にたい。」

「うむ。」と彼は頷いた。

二人には二人の心が硝子の両面から覗き合っている顔のようにはっきりと感じられた。

今は、彼の妻は、ただ生死の間を転っている一匹の怪物だった。あの激しい熱情をもって彼を愛した妻は、いつの間にか尽く彼の前から消え失せてしまっていた。そして、彼は？ あの激しい情熱をもって妻を愛した彼は、今は感情の擦り切れた一個の機械となっているにすぎなかった。実際、この二人は、その互に受けた長い時間の苦痛のために、もう夫婦でもなければ人間でもなかった。二人の眼と眼を経だてている空間の距離には、ただ透明な空気だけが柔順に伸縮しているだけである。その二人の間の空気は死が現われて妻の眼を奪うまで、恐らく陽が輝けば明るくなり、陽が没すれば暗くなるに相違ない。二人にとって、時間は最早愛情では伸縮せず、ただ二人の眼と眼の空間に明暗を与える太陽の光線の変化となって、露骨に現われているだけにすぎなかった。それは静かな真空のような虚無であった。③彼には横たわっている妻の顔が、その傍の藥台や盆のように、一個の美事な静物に見え始めた。(中略) ②「あなた、私が死んだら、幸福になるわね。」

彼は黙って妻の顔を眺めていた。そして、彼は自分の寢床へ帰って来ると憂鬱に蠟燭の火を吹き消した。

彼は自分の疲れを慰めるために、彼の眼に触れる空間の存在物を尽く美しく見ようと努力し始めた。それは彼の感情のなくなった虚無の空間へ打ち建てらるべきただ一つの生活として、彼に残されていたものだった。(中略)

こういうとき、彼は絶えず火を消して眠っている病舎の方を振り返るのが癖である。すると彼の頭の中には、無数の肺臓が、花の中で腐りかかった黒い菌のように転がっている所が浮んで来る。④恐らくその無数の腐りかかった肺臓は、低い街々の陽のあたため屋根裏や塵埃溜や、それともまたは、齒車の噛み合う機械や飲食店の積み重なった器物の中へ、孢子を無数に撒きながら、この丘の花園の中へ寄り集って来たものに相違ない。(横光利一『花園の思想』1927.2)

5-1. 【以下の設問を20—30字以内で答えなさい】(16%)

- ①「彼」が「柔かく廊下へ来た」のはあくまでも心がほぐれたからであるが、それも「患者たちの幻想」と視線を共有したためでもあるが、この場面の「患者たちの幻想」とは看護婦たちの姿のそれと対照させて、どういう気持ちと雰囲気のものか、説明しなさい。(4%)
- ②後の妻の発言「あなた、私が死んだら、幸福になるわね」から夫婦二人の間のしこりが想定されるが、「罪と罰とは何もなかった」とあるから、「罪と罰」とはどういう意味合いのものか、これは「彼」のどういう気持ちが表現されているか、分析しなさい。(4%)
- ③「彼」に「妻の顔」が「静物」に見え始めたのはなぜだろうか。「静物」という妻の表象はどういうものか説明しなさい。(4%)
- ④肺を病んだ患者たちは「孢子を無数に撒きながら」この肺療院へ来た。ここの「孢子」の比喻は肺結核の患者たちが周囲から見られる目を意味しているが、それはどういう意味か解析しなさい。(4%)

5-2. 川上弘美『センセイの鞄』評論 (14%)

「何も言わずに、センセイと布団の上に倒れこんだ。②はじめてわたしはセンセイに、強く激しく抱かれた。

その夜はセンセイの家に泊まって、センセイの隣で眠った。朝になって雨戸を開けると、青木の実が朝日を受けてつやつやと光っていた。ヒヨドリが実をついばみにきていた。ギョー、ギョー、という声がセンセイの庭に響きわたった。センセイとわたしは肩を並べてヒヨドリを眺めた。ツキコさんはいい子ですね。センセイが言った。センセイ、好き。わたしは答えた。②ヒヨドリが、ギョー、ギョー、と鳴いた。

遠いようなできごとだ。センセイと過ごした日々は、あわあわと、そして色濃く、流れた。センセイと再会してから、二年。センセイ言うところの「正式なおつきあい」を始めてからは、三年。それだけの時間を、共に過ごした。

あのころから、まだ少ししかたっていないのに。

備	註	試	題	隨	卷	繳	交
---	---	---	---	---	---	---	---

考 試 科 目	日 本 文 學	所 別	日 本 語 文 學 系 い い い	考 試 時 間	3 月 7 日(日)第 3/4 節
---------	---------	-----	----------------------	---------	-------------------

センセイの鞆を、わたしは貰った。センセイが書き残しておいてくれたのである。(略)

「父春綱が生前にお世話になったそうで」と、息子さんはふかぶかと頭を下げたのだ。

①春綱というセンセイの名をきいて、わたしは涙があふれそうになった。それまでほとんど泣かなかったのに。

松本春綱という人が見知らぬ人みたいで、わたしは泣けたのだ。(略)

センセイの鞆は、鏡台の横に置いてある。(略) センセイ、と呼びかけると、天井のあたりからときおり、ツキコさん、という声が聞こえてくることがある。湯豆腐には、センセイの影響を受けて、鰯と春菊を入れるようになりました。センセイ、またいつか会いましょう。わたしが言うと、天井のセンセイも、いつかきつと会いましょう、と答える。

そんな夜には、センセイの鞆を開けて、中を覗いてみる。鞆に中には、からっぽの、何もない空間が、広がっている。ただ儚々とした空間ばかりが、広がっているのである。(川上弘美『センセイの鞆』「十七 センセイの鞆」)

なるほど、女にとっては長い片思いの時間を過ごしようやく結ばれた恋、男にとっては最後の恋となったそれが、一方の死によって閉じられたあと、一人残された女が部屋で恋人を思い出す場面というのは、読み手が感情(や自分の現実)を投影すればするほど、印象深いものであるだろう。(略) ①そもそも一体なぜ彼女は彼にそんなに惹かれるのだろうか。(略) ツキコがセンセイに惹かれる理由も、やはりテキストのどこかに確実に、書き込まれている。(略) ツキコさんはいつでもセンセイにいいようにあしらわれるばかりだ。かつて①ルネ・ジュールは、主体は他者の欲望を模倣すると語ったが、一度駆動する欲望は自身の欲望(の不充足)を自己再生産して加速する。追いかけても来なければ宿に戻りもしないセンセイを待つうち、ついにツキコは、こう独白するのだった。

〈センセイ、暗いよ。わたしはつぶやいた。センセイ、もう暗いから、帰ってきてよ。奥さんが今も気になっているのでもなんでもかまわないから、早く帰ってきて一緒にお酒飲もうよ。さきほどの怒りはすっかり忘れて、わたしはつぶやいていた。茶飲み友達ならぬ酒飲み友達でいいから。それ以上望まないから。早く帰ってきて。外の夜に向かって、わたしは何回でもつぶやいた。センセイの姿が、宿の外の坂道の暗闇にぼうっと浮かんでいるように見える。しかし浮かんでいるように見えた影は何でもなく、よく見ればただの闇だった。センセイ、早く帰ってきて。いつまでも、わたしはつぶやきつづけた。〉(「島へ その1」)

①この物語中で彼女が彼を「センセイ」と呼び続けることを宿命付ける。だがしかしその呼び名は同時に、相手は自分を知っているのに自分は相手の「名前がわからないのをごまか」したのだという、不均衡な関係の刻印でもある。古来、権力者が名付けの権利をもってみずからの支配を正当化ないしは固着せしめたように、この瞬間からすでに、ふたりの権力関係は始まっている。(略) ①彼らの間で繰り返されるのは、一方は固定して優位に立ち、もう一方はたえず劣位を強いられる。(略) ツキコとセンセイの、支配-従属関係は単にその直後、物語内で「案じ」られていた「体をかさねていなかった」問題が解決したといった「変質」ではなく、完全に「反転」している。②「強く激しく抱かれた」などといった紋切り型の交接を果たしたところで、それはただ、彼女たちの完全だった関係の終局を告げる儀式でしかない。(略) サディストとマゾヒストがいたって凡庸な性交に辿りついたとき、それはもはや SM ではない。とすればもはや物語は終わるしかないのだし、②この直後にセンセイは死ななければならない。それも「センセイ」としてではなく、「大町月子」と同様、ただの固有名を持った者として。

〈「父春綱が生前にお世話になったそうで」と、息子さんはふかぶかと頭を下げたのだ。

①春綱というセンセイの名をきいて、わたしは涙があふれそうになった。それまでほとんど泣かなかったのに。松本春綱という人が見知らぬ人みたいで、わたしは泣けたのだ。〉(略)

センセイはあの一行を境に、サディストであることを止めたのでも、性交によって偶然、その地位を失ったのでもない。(略) ①この物語は悲恋でもなければ純愛でもなく、マゾヒストによるサディストの弑逆であり、ツキコによる「センセイ殺し」の物語なのだ。(前田壘「川上弘美の『センセイの鞆』にひとはなぜ感動するのか」『小説の設計図』青土社、2008.3)

5-2. 【以下の設問を100字程度で答えなさい】(14 %)

備	註	試	題	隨	卷	繳	交
---	---	---	---	---	---	---	---

考 試 科 目	日本文學	所 別	日本語文學系 6141	考 試 時 間	3 月 7 日(日)第 3/4 節
---------	------	-----	----------------	---------	-------------------

① 【以下の設問を100字程度で答えなさい】

川上弘美『センセイの鞆』(2001)には主人公で語り手の「わたし」、ツキ子は三十七歳の、どこかに勤めている女性である。ある日、「わたし」がいつも行く居酒屋で、偶然高校時代の国語の先生、松本春綱先生から声をかけられたのをきっかけに、二人はそれとなしに居酒屋で会ったりして、奇妙な恋愛の仕方を追っていく。以後、様々な障害を超え、「わたし」はセンセイに愛の告白をし、迫っていく。知り合ってから二年後、とうとう二人は肉体的に結ばれていき、さらに三年余りでセンセイは死に、語り手の語る現在の時点において、もうセンセイはいない。センセイの死後、「わたし」は遺言によりセンセイの鞆をもらった。

なぜツキコはそれほどセンセイに惹かれたのだろうか。その理由もテキストのどこかに確実に書き込まれている。前田壘の批評によると、〈この物語中で彼女が彼を「センセイ」と呼び続けることを〉、〈相手の「名前がわからないのをごまか」したのだという、不均衡な関係の刻印でもある〉と読む。しかも両者の関係を、〈一方は固定して優位に立ち、もう一方はたえず劣位を強いられる〉サディストとマゾヒストとして捉える。特に終末部の〈春綱というセンセイの名〉を聞いて涙ぐむ「わたし」の語りをもって〈この物語はマゾヒストによるサディストの弑逆であり、ツキコによる「センセイ殺し」の物語なのだ〉と位置づけてみた。

この物語を純愛小説ではなく、むしろ語りの内面に秘められたツキコとセンセイとの、主従の権力関係が機能したところを物語の位相として位置づけた、本文中における前田壘の分析方法を、明らかにしながら100字程度で説明しなさい。(7%)

② 【以下の設問を100字程度で答えなさい】

なお、前田壘の批評には『センセイの鞆』の物語内で、〈案じられていた「体をかさねていなかった」問題が解決したかのように完全反転している。「強く激しく抱かれた」などといった紋切り型の交接を果たしたところで、彼女たちの完全だった関係の終局を告げる儀式でしかない〉、とも言う。凡庸な性交の後の場面で、窓から差し込む朝日と共に「チュンチュン」と鳴くスズメの鳴き声が、ここでは「ギョー、ギョー」と鳴くのである。

物語を「言葉の文節」から少女漫画の紋切り型、SM的側面を感じさせる場面として読み替えること、語り手と作者から読みの主体性を奪い取ろうとする小説の読者の抵抗的な姿勢(作家殺し)を、前田壘の論旨を踏まえた上で、100字程度で説明しなさい。(7%)

【問題六】 以下の文章を読んで、1000字～1500字程度の小論文を書きなさい。(30%)

【高橋哲哉による書評： 戦後精神の忘却と空白を問う戦争の記憶とその語られざる「声」】

ショジャーナ・ランズマンは、現代を「証言の時代」と見なす。とはいえ、彼女は、このことによって、現代が殉教者伝や偉大さの物語に満ちた英雄的な時代だというようなアナクロニックな主張をしているのではない。全く逆に、現代は「証言の歴史的危機」の時代、「証言するという行為そのものがその過程の中で重大な外傷を負った時代」であり、まさにそれゆえに証言の極限的可能性が問題となる時代なのだ、とうのがその趣旨である。彼女が一つの映画を通してこの問題を論じた「証言の時代——クロード・ランズマンの『ジョアー』」は、現代の〈記憶の試練〉に真っ向から対峙する極めて重要な論考であり、次のような基本的認識から出発する。(略)

ランズマンは〈絶滅〉の歴史について、「この歴史を物語ることの不可能性」から出発した。『ジョアー』が肯定する証言の必要性は、事実、「この映画が劇的な仕方ですしている証言の不可能性からくる」のである。そして、この不可能性は二重の不可能性であり、「痕跡の消失」であるばかりではなく、「生還者自身の側」での「物語ることの不可能性」でもあった。(略)

出来事のコルを物語りうるのは出来事のコルにいた者だけだろう。ところがこの出来事は、出来事のコルにいた者がまさにコルにいたからこそ物語る能力を失ってしまう、そういう出来事なのである。フェルマンはこの事態を「内部は声をもたない」と表現している。かくして「証言の不可能性」は、まさしく『ジョアー』の「最も深く決定的な主題」となっているのである。

さて、それではこの「証言の不可能性」は、出来事についての絶対的沈黙を要求するのだろうか。語りえぬものは歴史的に無であるとして沈黙しなければならないのであろうか。けっしてそうではあるまい。証言の困難さ

備	註	試	題	隨	卷	繳	交
---	---	---	---	---	---	---	---

考 試 科 目	日本文學	所 別	日本語文學系 6141	考 試 時 間	3 月 7 日(日)第 3/4 節
---------	------	-----	----------------	---------	-------------------

が増せば増すほど、ますます「証言の必要性」が高まる出来事というものがあり、フェルマンも言うように、＜絶滅＞の核心にある「証言の不可能性」からは「まったく独自の仕方」で「語ることの絶対的必要性」が出てくる、とさえ言えるだろう。「この歴史を物語ることの不可能」から出発し、さまざまな証言を通じて「内部」の伝達不可能性を確認していくランズマン自身、それでも『ジョアー』の問題は「伝達すること」にあることを認めている。語りえぬものを前にした証人の沈黙から利益を引き出し、出来事の歴史的無をさえ結論することは、かつての虐殺者の狙いそのものである。語りえぬものをそれでもやはり語る必要があるのだ。しかし語りえぬものについては、まさに定義によって語りえないのでないか。不可能なものを可能にすることは不可能なのではないか。たしかに、この場合語りえぬものを物語＝叙述の仕方では語ることはあくまで不可能だろう。この出来事とりわけその「内部の真理」については、物語＝叙述の仕方では語ることが出来ないということ、一定の筋や起承転結をもち、一つの整合的全体として秩序づけられる通常の言説という形で語りえないということは、スレブニクを初めとして多くの証人たちが言っていることである。ところが、ここに一つの逆説がある。それはランズマンが、それでもなお不可能な証言を証人たちに要求していく時、証人たちが断片的に発するいくつかの言葉が、物語＝叙述として挫折するまさにそのことを通じて、語りえぬものを辛うじて示唆しているように思われることである。

(略) だからランズマンも、「証言の不可能性」を証言する『ジョアー』自体が一つの物語にならないために、「歴史映画」にならないために、とりわけテレビドラマ『ホロコースト』のような「ロマン」にならないためにあらゆる注意を払う。出来事の時間的秩序は無視され、錯綜し、逆転させられ、特に「死の一種の調和的発生があったかのような」説明的叙述は拒否される。かくして『ジョアー』は、一見すると矛盾した「二重の歴史的課題」に、すなわち「一方では沈黙を破るという課題、他方では言説を断ち切るという課題」に応えるものとなるのである。

フェルマンの思考が注目にも値するもう一つの点は、ここから「歴史に理解の新しい可能性」に向かって確実に一歩を進めている点である。(略)

出来事としての歴史は単に我々の知っていること、物語＝叙述されていることに還元しえないばかりではない。それはまた我々の知りうること、物語＝叙述しうることに還元しえない。もしも我々の歴史的記憶が物語＝叙述の形式をもつ伝達行為に根本的に依存するものとしたら、出来事としての歴史はさらに、我々の記憶しうることに還元しえないと言うべきだろう。「痕跡の消失」や「物語ることの不可能性」ゆえに、「我々の現在」をそもそもの初めから逃れていく他者たち、これらの記憶されえぬものや語りえぬものにも何らかの場所を与えなければならない。「我々の現在」のうちに決して現前化しえない過去との関係、「我々の現在」によってはついに記憶されず、「忘却の穴」に沈んでしまった過去との関係によって「我々の現在」が絶えず異化され、他者化されるような歴史性を考えなければならないのだ。「我々の現在」の自明性を徹底して疑問に付すことが必要である。どんな歴史的思考も、我々の知を超え、記憶を超え、伝聞や伝承や伝統を超え、物語叙述する行為を超えたものへの関係を我々の歴史への関係それ自体のなかに組み込むことをしない限り、結局は「我々の現在」の特権を意識的にか無意識的にか確認することに終わってしまうからである。(高橋哲哉『記憶のエチカ 戦争・哲学・アウシュヴィッツ』第1章 記憶されえぬもの 語りえぬもの《2 声なき内部》岩波書店、1995.8)

【以下の設問を読み、1000字～1500字程度の小論文を書きなさい】(30%)

『ジョアー』とはナチスの大虐殺に協力させられたユダヤ人労働班の一員であったスレブニクという生還者の九時間半にわたる映画である。ショシャーナ・ランズマンというフランス文学・比較文学研究者がこのユダヤ人大虐殺の証言映画を批評したが、ランズマンの論考においては＜『ジョアー』自体が一つの物語にならないために＞、『ジョアー』を「一つの物語」にしなかった。又、高橋哲哉氏はそうしたランズマンの論点を＜「歴史の理解の新しい可能性」に向かって確実に一歩を進めている＞と評価する。以上の本文の論旨を踏まえた上で、以下のテーマで1000字～1500字程度の小論文を書きなさい。

【問題六】小論文テーマ：「物語の意味と歴史理解の可能性」

備	註	試	題	隨	卷	繳	交
---	---	---	---	---	---	---	---

考試科目	日本歷史	所別	日文系 6141	考試時間	3月7日(日)第三節
------	------	----	-------------	------	------------

問題一、次の文章の（ ）の中に入る適切な語を下のア～ヤの中から選び、記号で答えなさい。(各3分)

日本の律令国家の成立は645年の（①）を契機として開始され、701年制定の（②）によって完成した。これは中国における統一王朝の成立・朝鮮半島における軍事的緊張という対外的緊張に刺激されて開始されたもので、内在的発展から生み出されたものではなかった。正丁の（③）を兵士として徴し、また、庸・雜徭といった労働力の国家による収奪など、農民の負担は過重であった。農民の犠牲の上に、694年に中国の都城制をモデルとした（④）を建設し、また、710年には（⑤）を建設するなど中央集権的国家の外貌を整備した。

しかし、逃亡農民の激増・班田給付の農地の不足などから早期に破綻をきたした。723年には（⑥）を、また、743年には（⑦）を發布し、私有地の所有を公認するようになり、公地公民制は崩壊に向かった。有力貴族や大寺社は大規模な新田開発を行い、荘園として国家からの公認を受け、（⑧）の特権を得た。平安時代後期になると、地方の有力者たちが、この特権を利用して国司からの掣肘を排除する目的で、自己の開発した土地を中央貴族に寄進し、自身は（⑨）として私有地の支配権を強化しようとした。同時に、彼らは自身の私有地を確保するために武装をし、私的主従関係を結んだ。これが（⑩）の起源である。

ア.冠位十二階の制定 イ.憲法十七条の制定 ウ.大化の改新 エ.近江令 オ.飛鳥浄御原令
カ.大宝律令 キ.貞永式目 ク.武家諸法度 ケ.全員 コ.二分の一 サ.三分の一
シ.五分之一 ス.難波京 セ.近江大津京 ソ.藤原京 タ.平城京 チ.平安京
ツ.班田給付法 テ.墾田永年私財法 ト.三世一身法 ナ.新田開発令 ニ.人返し令
ヌ.帯刀 ネ.不輸・不入 ノ.徳政 ハ.身分保障 ヒ.本所 フ.領家 ヘ.公文 ホ.名主
マ.作職 ミ.軍団 ム.健児 メ.武士 モ.町人 ヤ.百姓

考試科目	日本歷史	所別	日文系 6141	考試時間	3月7日(日)第三節
------	------	----	----------	------	------------

二、選擇問題 15%

1945 年、日本は太平洋戦争に敗れた。この敗戦によって、明治以来の日本国内体制は大きく変革された。その変革の経過についてつぎの問に答えなさい。

(一) 1. 連合国が日本に無条件降伏を勧告した有名な宣言は何か。

- (1)モスクワ宣言 (2)ポツダム宣言 (3)カイロ宣言

2. アメリカが日本の降伏を決定的にした軍事上の行為は何か。

- (1)朝鮮戦争 (2)米軍基地反対闘争 (3)原子爆弾の投下

3. ミズリー艦上で降伏文書に調印し、その後も日本の軍事占領で活躍した連合国の代表の名前は。

- (1)モンロー (2)マッカーサー (3)ニクソン

(二) 1. 連合国の占領政策を遂行した軍政機関の名称は何か。

- (1)連合国軍総司令部 (G.H.Q) (2)国際連盟 (3)講和準備委員会

2. 降伏によって、日本国の主権の及ぶ領土はどの範囲に決められたか。

- (1)本州、四国、九州 (2)本州、四国、北海道とそれに属する諸小島
(3)本州、四国、九州、北海道とそれに属する諸小島

3. 1946 年 1 月 1 日に昭和天皇は詔勅を出されたがその主旨は何か。

- (1)天皇の神格否定 (2)天皇の軍権否定 (3)天皇の行政権否定

(三) 1. 1946 年 4 月に戦後日本の最初の総選挙が行われた。それまで、ほぼ何年くらい政党政治は空白であったか。

- (1)14 年 (2)15 年 (3)16 年

2. この総選挙には参政権のうえで長年の懸案が解決された。その重要なものは何か。

- (1)男子参政の実現 (2)婦人参政の実現 (3)公務員参政の実現

備	註	試 題 隨 卷 繳 交
---	---	-------------

考試科目	日本歷史	所別	日文系 6141	考試時間	3月7日(日)第三節
------	------	----	----------	------	------------

3. 1946 年 11 月に日本国憲法が公布された。そのもっとも大切な特色は何か。

- (1)軍隊解体 (2)財閥解体 (3)戦争放棄

(四) 1. 46 年にはアメリカの教育施設団が来た。その勧告による新学制をなんと呼んでいるか。

- (1)六、三、三制 (2)六、三、四制 (3)四、三、三制

2. 新しい教育制度を決めた教育基本法や学校教育法がもっとも大切にしている趣旨は。

- (1)教育の民主化 (2)教育の自由化 (3)教育の弾性化

3. 教育行政を決めるために新たに設けられた委員会の名称は。

- (1)文化委員会 (2)教育委員会 (3)行政委員会

(五) 1. 連合軍総司令部が日本経済の民主化のために行った大改革のうちで、農業に関係のあるものを何と呼ぶか。

- (1)農業保護政策 (2)農地改革 (3)農産物自由化

2. また、その大改革のうちの資本に関係のあるものを何と呼んでいるか。

- (1)銀行解体 (2)財閥解体 (3)土地改革

3. 軍隊の解体は重要なものであるが、労働者の人権と民主主義の女性という意味で、より積極的な意味をもった社会的改革があった。それは何か。

- (1)労働三法の制定 (2)労働基準法 (3)労働組合法

三、用語の説明 25%

- 関ヶ原の戦い
- 参勤交代
- 鎖国
- 廃仏毀釈運動
- 北方領土問題

備 註 試 題 隨 卷 繳 交

考試科目	日本 歴史 史	所別	日文系 6141	考試時間	3月7日(日)第三節
------	--------------------	----	-------------	------	------------

問題四、19 世紀中葉における、日本の政治動向について、500 字程度で論じなさい。
(30 分)



考 試 科 目	日語語言學	所 別	日文系 6141	考 試 時 間	3 月 7 日(日) 第 3 節
---------	-------	-----	----------	---------	------------------

すべて日本語で答えなさい

1. 次の①～⑥から四つの項目を選び、例を挙げて説明しなさい。20%

- ①「遂行動詞」
- ②「異形態」
- ③「ピジン」と「クレオール」
- ④「重箱読み」
- ⑤「総主構文」
- ⑥「言語獲得装置 (LAD)」

2. 「単純語」「合成語」「複合語」「派生語」について、知っていることを述べなさい。8%

3. ①～④の(a)と(b)の意味の違いと使われる文脈を説明しなさい。12%

- ① (a) ご案内します。
- (b) 案内いたします。
- ② (a) こちらは田中さんです。
- (b) こちらが田中さんです。
- ③ (a) 彼は結婚している。
- (b) 彼は2年前に結婚している。
- ④ (a) 先生は子供を台の上に上げた。
- (b) 先生は子供に台の上に上がってもらった。

4. 次の 10 個の動詞を A 類、B 類の 2 種類に分け、それぞれどのような基準で以って分けたのか、それぞれの特徴は何か、できるかぎり詳しく説明しなさい。(8%)

建てる 食べる 叱る 棄てる 作る 励ます 壊す
書く 読む 編む

5. 次の文は、旧約聖書の詩篇 72 篇 1 節（共同訳）の一部であるが、この文は、読点の打ち方が不適當であるため、意味が通じない文になっている。適切な読点に修正し、何故そのように修正するのか説明し、修正した文を中国語に翻訳しなさい。(7%)

「神よ、あなたによる裁き^{さば}を、王にあなたによる恵みの御業^{めぐみわざ}を、王の子にお授けください。」

(あなたによる裁き^{さば}＝祢判斷的權柄、あなたによる恵みの御業^{めぐみわざ}＝祢的公義)

備	註	試	題	隨	卷	繳	交
---	---	---	---	---	---	---	---

考 試 科 目	日語語言學	所 別	日文系	考試時間	3月7日(日)第3節
			6141		

6. 次の項目から一つ選んで、できるだけ詳しく説明しなさい。(5%)

- ①無声子音と有声子音
- ②音素と異音
- ③相補分布
- ④同化現象

7. 受動態の種類と例を挙げ、解説しなさい。(10%)

8. 作文。400～500 字程度。(30%)

テーマ『日本語の難しさ』



備	註	試 題	隨 卷	繳 交
---	---	-----	-----	-----